

檜戸医師に相談しよう！

特別座談会



1月31日、町保健センターで『檜戸医師に相談しよう！特別座談会』が開かれ、約70名が集まりました。
檜戸医師は、過去に当町の旧国保病院で約4年間勤務された方で、現在は、海外ボランティア医師など幅広い分野でご活躍されています。
座談会では、多くの質問に対して丁寧な説明し、ユニークなトークを交え、笑いの絶えない時間となりました。

町文化協会創立50周年

記念式典・祝賀会



2月2日、レ・コード館町民ホールで、『新冠町文化協会創立50周年記念式典・祝賀会』が開かれ、関係者ら約130名が出席し、半世紀の節目を祝いました。
式典では、当協会の鹿野慎二会長が式辞で「昭和44年に10団体で創立した文化協会が半世紀にわたり振興発展できたのは、歴代の会長や役員、会員の皆さまのおかげです。」とお礼の言葉を述べられました。
祝賀会では、乾杯の音頭を町議会の荒木正光議長がとり、その後のアトラクションでは、レ・コード館ダンス舞の踊りや外崎三絃会などの演奏が行われ、最後に判官太鼓保存会の太鼓で会場は盛り上がりしました。

北海道電力(株)による 高齢者宅の照明器具清掃活動



2月12日から14日の3日、間北海道電力(株)職員による高齢者宅の照明器具清掃活動が実施されました。
これは、平成22年度から毎年行われているもので、10回目となった今年は9件のお宅の居間や寝室の照明器具の清掃などを行っていただきました。
高齢者からは、「部屋が明るくなって、気持ちまで明るくなった」と、喜びの声をたくさん聞くことができました。

八代亜紀 数々のヒット曲披露 アコースティックコンサート



2月16日、レ・コード館で、『八代亜紀アコースティックコンサート』が開かれ、473名が来場しました。
コンサートは、「雨の慕情」、「舟唄」などのヒット曲を生バンドで披露されたほか、北海道出身のMILEA(ミレア)さんがゲストとして出演し、八代さんとのデュエットなども披露され、会場を魅了していました。

厳正な規律と行動を習得 新冠消防団『現地教育訓練』



2月23日、町民スポーツセンターで、『現地教育訓練』が行われ、26名の消防団員が参加しました。
これは、消防団員の指揮能力の向上や新人団員への基礎訓練を目的に毎年行われているもので、訓練では、部隊の統制を図るための礼式について学び、きびきびとした行動で活気あふれる訓練となりました。

丸本 颯馬君 標語で知事賞受賞 「守ろうよ 今と未来の 森のこと」



2月25日、新冠小学校で『令和元年度林野火災予防に関する作品(標語の部)の知事賞(最優秀賞)伝達式』が行われ、同校4年生の丸本颯馬君へ、柏木日高振興局長から賞状と記念品が伝達されました。
これは、道が毎年、林野火災予防の啓発を行うため、全道の小学生を対象に募集しているもので、今年度は全道から766点の応募があり、丸本君の作品が見事、知事賞に輝きました。

昭和音楽大学による演奏会

『アウトリーチコンサート』



2月21日、毎年恒例となっている昭和音楽大学による『アウトリーチコンサート』が、認定こども園、各小中学校の計4カ所で開催されました。
新冠小学校では、演奏を楽しむにしていた児童の目の前で、木琴やクラリネットなどたくさんのおもちゃ楽器を使用した美しい演奏が披露され、子どもたちから大きな拍手と歓声が沸き起こりました。

豊かな新冠町を造る計画委員会

総合計画の策定について答申



2月21日、豊かな新冠町を造る計画委員会の橋本正美会長が来庁し、町より諮問された第6次新冠町総合計画の策定について、町長に答申しました。
委員会では、42名の方々がこの総合計画の策定について慎重な審議を重ね、心を重視した創造的なまちづくりを目標とした計画となっています。

ま ち の 話 題

あれこれ

新冠小6年生が 高齢者の疑似体験



2月21日、新冠小学校6年生の41名が福祉教育の一環として、高齢者疑似体験や車いす体験を行いました。
この体験会は、新冠町社会福祉協議会と保健福祉課職員の協力のもと開かれ、高齢者の疑似体験では、加齢による身体の変化を体験するため、音が聞きづらくなるヘッドホンに重たいベスト、腕には重りをつけ、階段の昇り降りなどの体験を行いました。
また、車いす体験では、日常にある小さな段差や玄関の出入り口の幅などが、車いすに乗っている方にとって、支障になることを確認することができ、充実した総合学習の授業となりました。